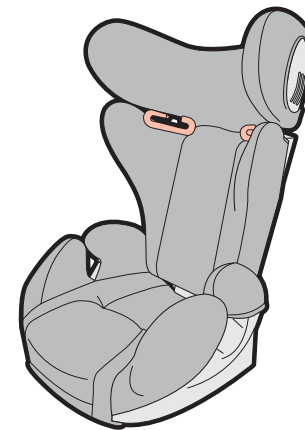


チャイルドシート

# マシュマロジュニア エアー 8サポート サーモ (EC)

## 取扱説明書／保証書

体重**15kgから36kg**までのお子さま用です。  
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。



### 〈お願い〉

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

## アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**  
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。  
**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**  
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

ECE規則No.44/04適合

汎用型グループⅡ～Ⅲ、15kgから36kgまで。

座部横に貼られてある認証番号シールは、はがさないでください。

ご使用前に	2
チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
各部のなまえ	3
お子さまの条件	4
チャイルドシートを取り付ける座席について	5
シートベルトの条件	6
ご使用上の注意	7
緊急時のお子さまの降ろしかた	9
ラベルの貼付位置及び内容について	9
各部の操作方法	10
背もたれの取り付けかた	10
背もたれの高さ調節	11
ジュニアシートモード	12
本体の取り付けかた	12
お子さまの乗せかた	13
使用時の確認	16
ブースターシートモード	17
背もたれの取り外しかた	17
お子さまの乗せかた	18
使用時の確認	20
お手入れ	21
シートカバーの外しかた	21
シートカバーの洗濯	23
樹脂部分のお手入れ	23
保管・廃棄のしかた／製品仕様	24
保管するときは	24
廃棄するときは	24
製品の仕様	24
困ったときに	25
保証について	27
保証期間とアフターサービス	27
アフターサービスについての連絡先	27
MEMO	28
保証書	30

## チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

## ＜中古品のご使用について＞






- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

## 保護者の方へのアドバイス

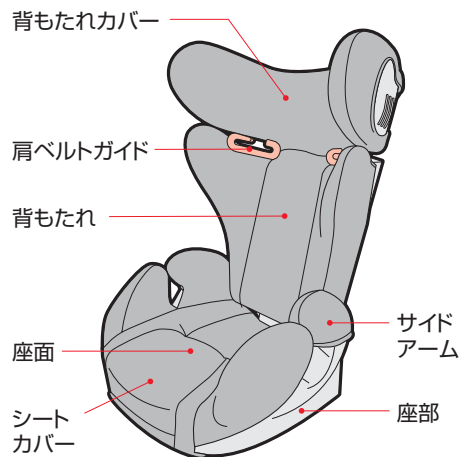
- ・お子さまをはじめて車に乗せるときから、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。

## 本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
	製品の取扱いにおける禁止行為です。
	製品の取扱いで知っておくと便利な内容です。

## 各部のなまえ



### 〈付属品〉

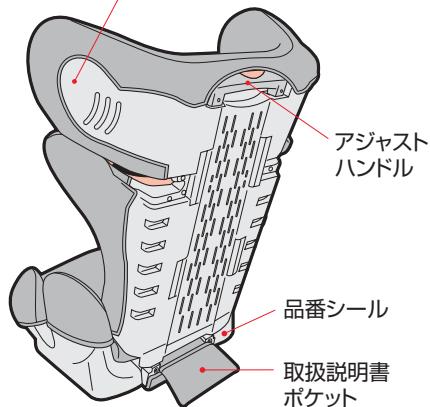


取扱説明書（本書）  
※取扱説明書ポケットに  
保管してください。



お客様  
登録カード

スリーピングサポート



### 〈重要〉

※お客様登録カードは、弊社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報をお知らせするためのご連絡先の登録に必要となります。お買い上げ日より1カ月以内に同封の「お客様登録カード」をご返送いただくか、弊社ホームページ (<http://www.Aprica.jp/>) からご登録をお願いいたします。

## お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



- ・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

お子さまの体重にあわせて、2通りの使いかたがあります。

体重15kgから25kgまで

参考年齢：3歳頃から7歳頃  
参考身長：95cm～120cm

### グループⅡ 〈ジュニアシートモード〉

- ・腰が安定し、一人座りができること。
- ・チャイルドシートに座ったとき、車のシートベルトのタンクが、バックルに差し込めること。
- ・チャイルドシートに座ったとき、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。

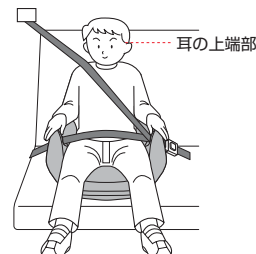


体重15kgから36kgまで

参考年齢：3歳頃から11歳頃  
参考身長：95cm～145cm

### グループⅡ・Ⅲ 〈ブースターシートモード〉

- ・腰が安定し、一人座りができること。
- ・チャイルドシートに座ったとき、車のシートベルトのタンクが、バックルに差し込めること。
- ・チャイルドシートに座ったとき、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より下になること。



## チャイルドシートを取り付ける座席について

- ・本装置は「汎用」幼児拘束装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、ECE規則No.44/04に基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- ・車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されている場合は、装置が正しく取り付けられると考えられます。

### ＜お奨める取り付け座席の位置＞

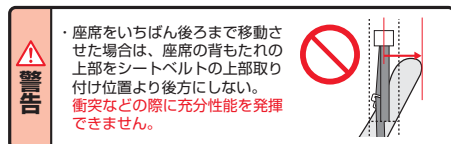
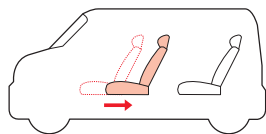
- ・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めます。フロントエアバッグが作動した際に、お子さまが強い衝撃を受けるおそれがあります。

### ＜サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意＞

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
- ・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

### ＜やむを得ず前席に取り付ける場合の注意＞

- ・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。



### ＜取り付けできない座席＞・座席の位置及び装備



### ＜取り付けできない座席＞・座席の形状



## シートベルトの条件

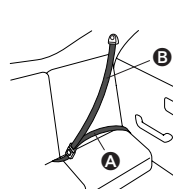
### ＜シートベルトの条件＞

- ・本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
- ・シートベルトの種類については、お車の取扱説明書をご確認ください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト (ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付))	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れられ、急ブレーキや衝突などのときだけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用する。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本装置は、ご使用できません。

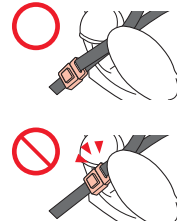
### ＜ECE規則について＞

- ・チャイルドシートは、助手席または後部座席に、3点式シートベルトの腰Aおよび肩B部分を使用して、必ず前向きに取り付けること。
- ・ECE規則No.16または他同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した記載車種に限り使用できます。

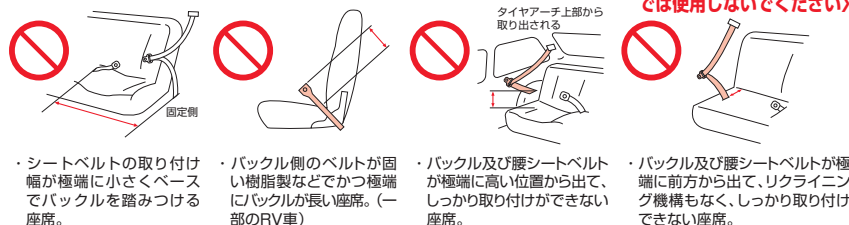


### ＜シートベルトバックルの正しい位置＞

- ・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・右図のようにバックルが本装置に乗り上げる場合は、ご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。



### ＜取り付けできない座席＞



### ＜以下のシートベルトでは使用しないでください＞



## ご使用上の注意



**危険**

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重15kg未満及び36kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・車のシートベルトのバックルを解除した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示の説明以外の方法で取り付けない。



**警告**

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩シートベルト、腰シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰シートベルトは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例：片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩シートベルトは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・ジュニアシートモードでお子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・ブースターシートモードでお子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・極端な厚着や、防寒具の上からシートベルトを装着した場合、シートベルトのゆるみの原因となることがあります。寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。
- ・お子さまを車のシートベルトで遊ばせない。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・背もたれのみで使用しない。
- ・本装置を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本装置のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・パッド類を含む本装置の部品が破損した状態で使用しない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。

・本装置の取り付けや取扱いに関する不明点がありましたら、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P27参照)



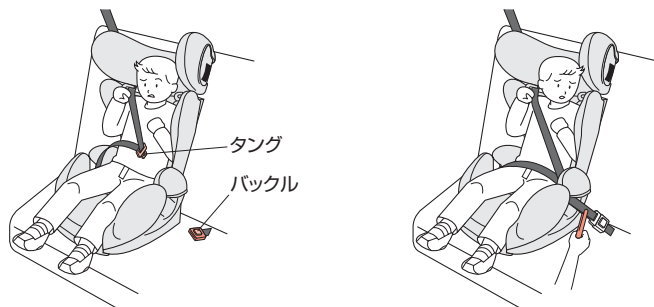
**注意**

誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。  
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用すると可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

## ご使用上の注意

### 緊急時のお子さまの降ろしかた



緊急のときはあわてずに…

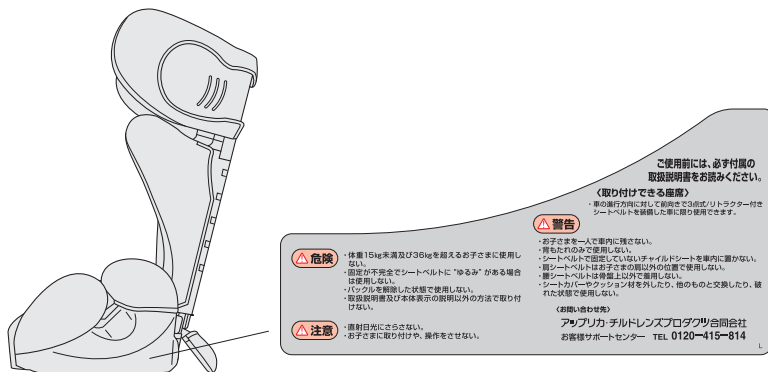
- ①車のシートベルトのバックルからタングを外す。
- ②車のシートベルトをサイドアームから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。

バックルからタングが抜けなときは…

- ・車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

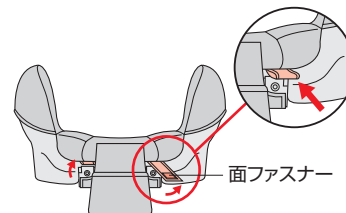
### ラベルの貼付位置及び内容について

- ・チャイルドシートには、ご使用上の注意を記入したラベルを下記の箇所に貼り付けています。ラベルをお読みいただき、必ず守ってください。

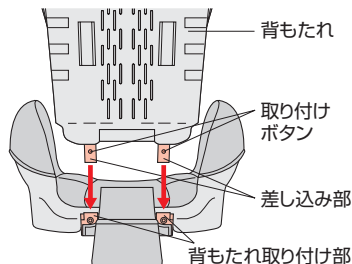


## 各部の操作方法

### 背もたれの取り付けかた



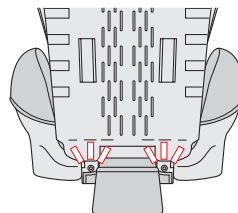
- ①背もたれ取り付け部をカバーしてある縫製品の面ファスナーを外し、シートカバーと座部の間に入れ、収納します。



- ②背もたれの取り付けボタンを押しながら背もたれ取り付け部に差し込みます。



・指や手をはさまないように注意する。



- ③背もたれが確実に取り付けられているか背もたれを引き、ロックが掛かっていることを確認します。



・背もたれを後方に無理に倒さない。破損するおそれがあります。

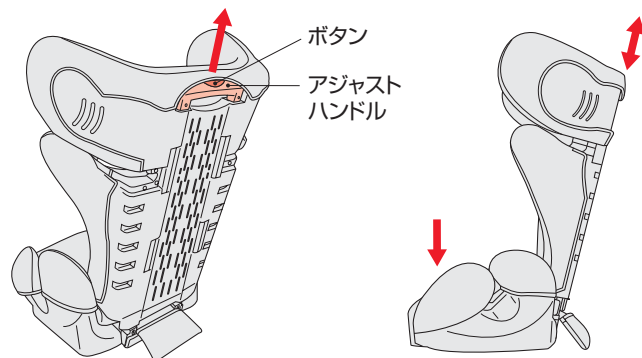


- ・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられ、取り付けボタンが確実にとまっているかを確認してください。
- ・確実に取り付けられていない状態で使用した場合、衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



## 各部の操作方法

### 背もたれの高さ調節



・チャイルドシートの背もたれ後面のアジャストハンドルのボタンを押して、背もたれを上下させます。(上下しにくい場合は、片方手で座面を押さえてください。)

#### 危険

- ・背もたれ付きでご使用になる場合は、背もたれの肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも少し上の位置(2cm以内)になるように背もたれを調節すること。
- ・チャイルドシートを調節するたびに、調節した部分が正しい位置にロックされていることを確認する。  
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

#### 警告

- ・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・車のシートベルトは、ねじれ、緩みのないように着用させ、腰シートベルトは骨盤上に低く下げて着用させる。  
衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

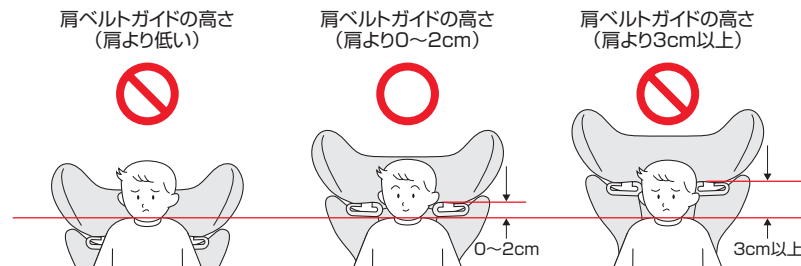
#### 注意

- ・指や手をはさまないよう注意する。

## ジュニアシートモード／本体の取り付けかた

体重:15kgから25kgまで(参考身長:95cm~120cm)

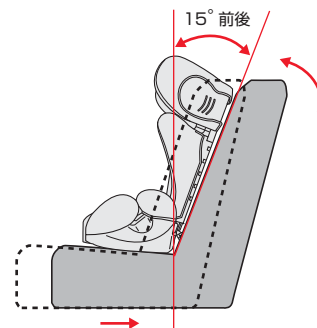
### — お子さまの肩の高さ —



① お子さまに合わせてチャイルドシートを調節します。

(背もたれの高さ・肩ベルトガイドの位置)

※肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも少し上の位置(2cm以内)になるように調節してください。

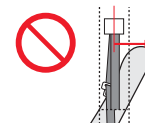


② 車の座席が前後にスライドできる場合は、座席を出来るだけ後ろの位置にスライドさせます。座席がリクライニング付きの場合は、車の座席の背もたれを15° 前後の傾きに調節します。

③ チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれの間隙が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

#### 警告

- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部分をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



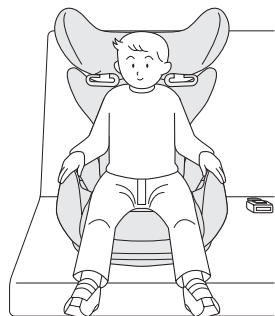
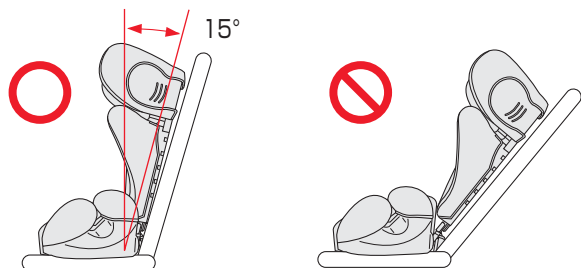
## ジュニアシートモード／お子さまの乗せかた



- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。  
衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。



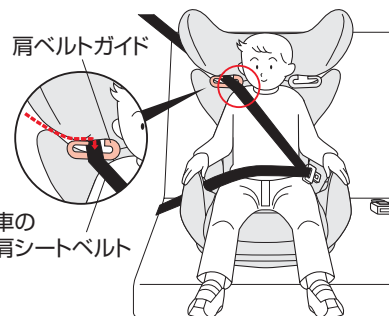
- ・背もたれを後方に無理に倒さない。破損するおそれがあります。



- ④チャイルドシートの上にお子さまを深く座らせませす。



- ・チャイルドシートの前部が座席からはみ出ないこと。
- ・乗降時に通路になる座席にチャイルドシートを取り付けない。(2ドア、3ドア車及び1ボックス車など)  
衝突などの緊急時に、車内の人が脱出できなくなり重大な事故につながるおそれがあります。

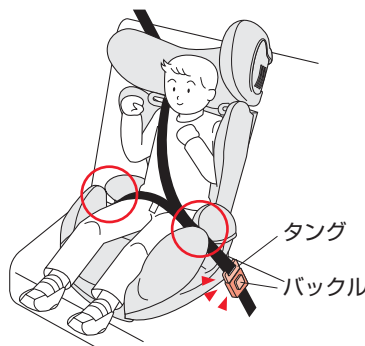


- ⑤車の肩シートベルトを背もたれの肩ベルトガイドに通します。

※お子さまの成長にともない、肩ベルトガイドの位置が低くなったときは背もたれの高さを調節してください。



- ・肩ベルトガイド部は、車のシートベルトがお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまの成長に伴い、肩ベルトガイド部が低くなったときには、背もたれの高さを調節してください。



- ⑥車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し、肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みます。



- ・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。



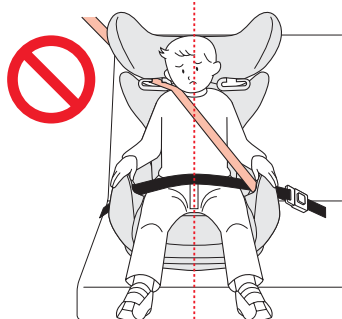
- ・バックルが本装置に乗り上げる場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



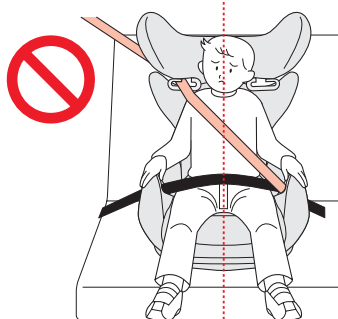


## ジュニアシートモード／お子さまの乗せかた

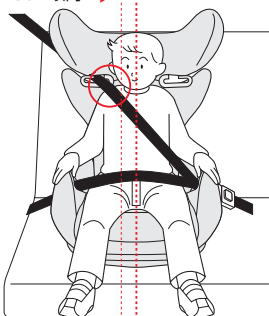
〈肩シートベルトが首に掛かる場合〉



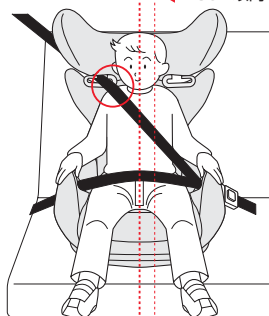
〈肩シートベルトが肩から外れる場合〉



5cm以内 →



← 5cm以内



- ・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れるときは、この座席では使用できません。



危険

- ・チャイルドシートが本書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
- ・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

## ジュニアシートモード／使用時の確認



警告

- ・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。  
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

お子さまの条件：体重15kgから25kgまで  
参考年齢：3歳頃から7歳頃 参考身長：95cm～120cm

肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になっていること。

肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。

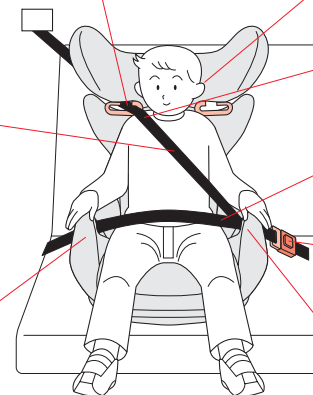
腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。

肩シートベルトと腰シートベルトがサイドアーム内側を確実に通っていること。

車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。  
(シワは問題ありません。)

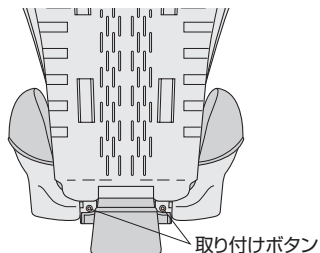
腰シートベルトがサイドアーム内側を確実に通っていること。



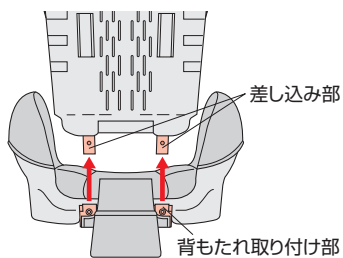
・正しくできていない場合は、もう一度P12～P15の手順をやり直してください。

## ブースターシートモード／背もたれの取り外しかた

体重:15kgから36kgまで(参考身長:95cm~145cm)

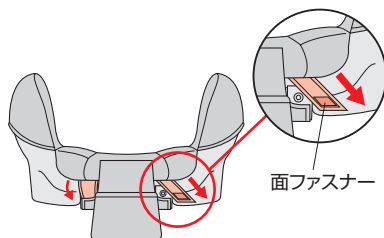


- ①座席の後方にある取り付けボタンを押します。



- ②背もたれを上引き抜き、背もたれを取り外します。

**注意** 背もたれは必ず上に引き抜く。  
前後方に引き抜くと破損する  
おそれがあります



- ③シートカバーと座部の間から縫製品を引き出し、背もたれの取り付け部をカバーして面ファスナーでとめます。

・取り外した背もたれは、大切に保管してください。

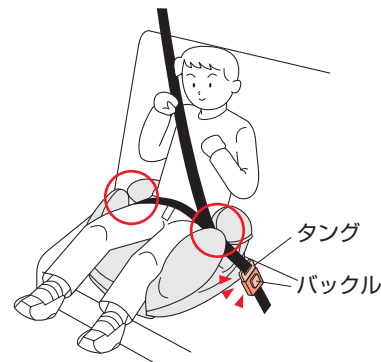
## ブースターシートモード／お子さまの乗せかた



- ①チャイルドシートの上にお子さまを深く座らせませす。

**警告**

・チャイルドシートの前部が座席からはみ出ないこと。



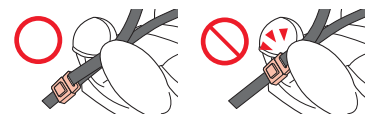
- ②車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し、肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みます。

**注意**

・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。

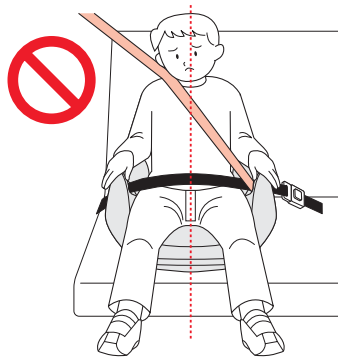
**警告**

・バックルが本装置に乗り上げる場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

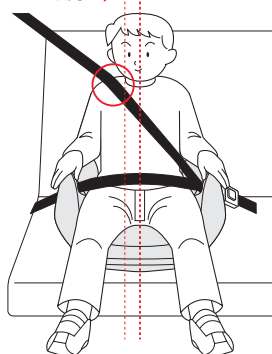


## ブースターシートモード／お子さまの乗せかた

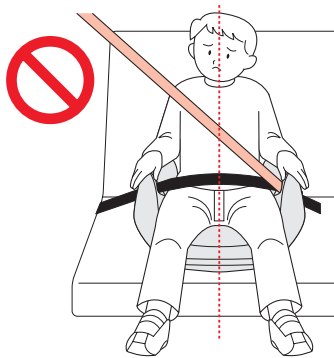
〈肩シートベルトが首に掛かる場合〉



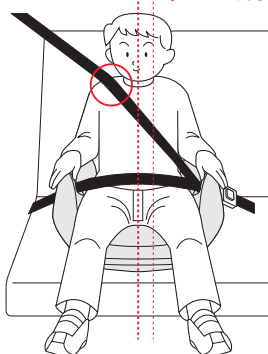
5cm以内 →



〈肩シートベルトが肩から外れる場合〉



← 5cm以内



- ・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れるときは、この座席では使用できません。



危険

- ・チャイルドシートが本書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。

## ブースターシートモード／使用時の確認



警告

- ・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。  
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

お子さまの条件：体重15kgから36kgまで  
参考年齢：3歳頃から11歳頃 参考身長：95cm～145cm

車のシートベルトがお子さまの肩にかかっていること。

車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれないこと。  
(シワは問題ありません。)

腰シートベルトがサイドアーム内側を確実に通っていること。

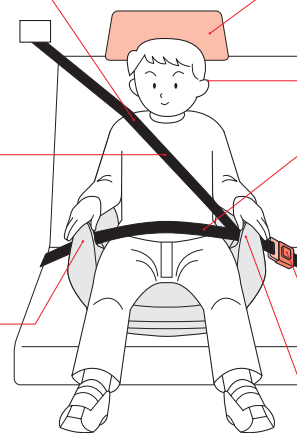
車のヘッドレストを取り付けていること。  
(取り外せる場合)

お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より下になっていること。

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

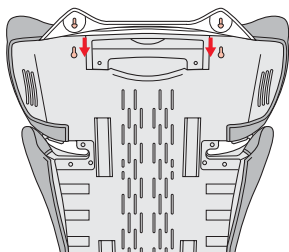
車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。

肩シートベルトと腰シートベルトがサイドアーム内側を確実に通っていること。

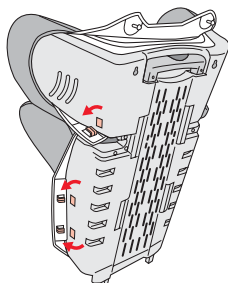


・正しくできていない場合は、もう一度P18～P19の手順をやり直してください。

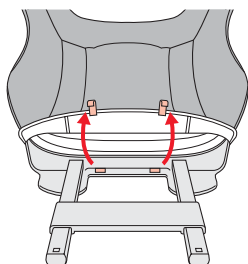
## お手入れ／シートカバーの外しかた



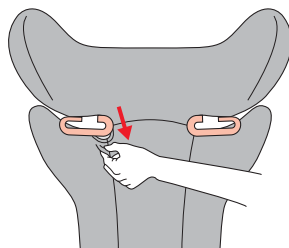
① 背もたれ上部のクリップ (2カ所) を矢印の方向にスライドさせ外します。



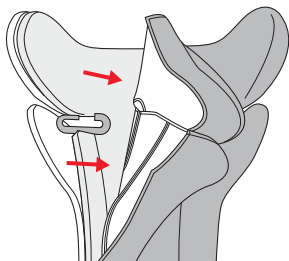
② 背もたれ側面のフック (3カ所) を外します。(左右)



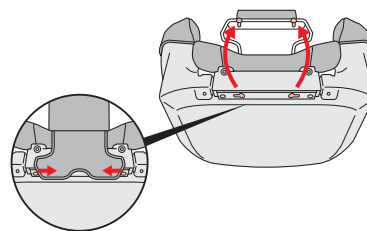
③ 背もたれ下部のフック (2カ所) を外します。



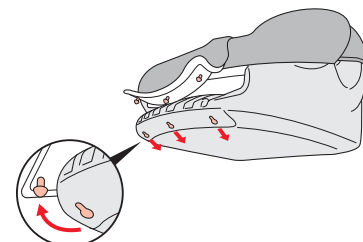
④ 肩ベルトガイド部のシートカバーを外します。(左右)



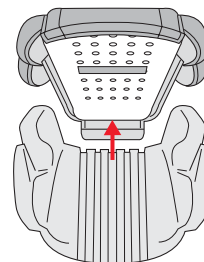
⑤ シートカバーを取り外します。



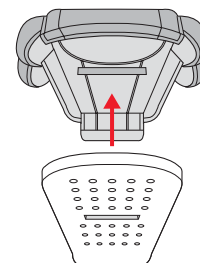
⑥ 後方のシートを真中に寄せ、クリップ (2カ所) を矢印の方向にスライドさせ外します。



⑦ 前方のシートを引いて、クリップ (3カ所) を矢印の方向にスライドさせ外します。



⑧ シートカバーを取り外します。



⑨ シートクッションからシートカバーを外します。

・シートカバーを取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。



・内部のクッション材を取り外したり、他の物と交換したり、やぶれた状態で使用しない。衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できないだけでなく、生命に関わる重大な危険になるおそれがあります。



・クリップ (芯材) などを外すときは充分ご注意ください。  
手、指などがををするおそれがあります。  
・シートカバー内部のクッション材は洗浄しない。

## お手入れ

### シートカバーの洗濯



・他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り(移染)のおそれがあります。

### 樹脂部分のお手入れ

#### 〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・可動部にゴミがつかまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

#### 〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

#### 〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。



・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。  
変色、変形、劣化のおそれがあります。

## 保管・廃棄のしかた／製品仕様

### 保管するときは

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさない。  
劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

### 廃棄するときは

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

### 製品仕様

商 品 サ イ ズ	・ W : 495mm × D : 410~420mm × H : 645~745mm
商 品 重 量	・ 3.3 kg
材 質	・ 背 も た れ : ポリプロピレン
	・ 本 体 台 座 : ポリエチレン
	・ シ ー ト ク ッ シ ョ ン : ポリウレタン
	表 生 地 : ポリエステル
	ク ッ シ ョ ン 材 : ポリウレタンフォーム

## 困ったときに

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

### 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P27参照「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	P5「チャイルドシートを取り付ける座席について」、 P6「シートベルトの条件」を参照ください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取り付けをお奨めします。 P5参照「チャイルドシートを取り付ける座席について」
チャイルドシートをどのグループ（ジュニアシートモード・ブースターシートモード）で使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになるグループを決定してください。 P4参照「お子さまの条件」

### 〈本体の取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの通しかたが判らない。	本書及び台座の表示シールの内容に従って正しく通してください。 P14参照「ジュニアシートモード」、P18参照「ブースターシートモード」
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 P14参照「ジュニアシートモード」、P18参照「ブースターシートモード」  シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 P14参照「ジュニアシートモード」、P18参照「ブースターシートモード」

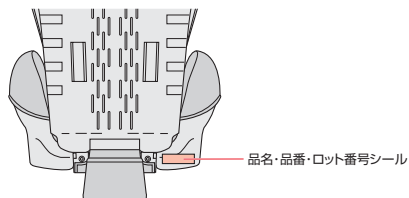
### 〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩シートベルトがお子さまの首に掛かる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 P15参照「ジュニアシートモード」、P19参照「ブースターシートモード」
肩シートベルトがお子さまの肩から外れる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 P15参照「ジュニアシートモード」、P19参照「ブースターシートモード」



## 保証期間とアフターサービス

- ・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・保証期間中（**お買い上げ日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。  
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（**修理箇所の保証期間は1カ月です。**）  
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（**部品の保有期間は、製造中止後3年間です。**）
- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、座面裏面シールの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート  
貼り付け位置

### アフターサービスについての連絡先

#### アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁辻山町2364-5  
アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

## 保証書

## 保証規定

- 1) 製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 2) 保証期間中に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合は無償修理をいたします。
- 3) 保証期間中でも次のような場合には有償になります。
  - a. 保証書の提示のない場合
  - b. 保証書にお買い上げ日、販売店の記載がない場合、または字句を書き換えられた場合
  - c. お客様の誤った使いかたやお手入れ不良、または改造や不当な修理による故障や損傷
  - d. 製品の自然劣化（メッキ部の錆、塗装部の剥がれ、縫製品・樹脂部の紫外線劣化など）
  - e. 消耗品など
  - f. シートなど縫製品の傷や破れ、その他の破損
  - g. 災害や外部要因などによる故障や損傷
  - h. 修理に要する運賃などの諸経費
- 4) 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- 5) 一度ご使用になった製品は、原則として他の製品にお取り替えできません。
- 6) 事故や落下など、強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- 7) 日本国内においてのみ有効です。（Effective only in Japan）

品 名	マシュマロジュニア エアー Bサポート サーモ (EC)	品 番	
		ロット番号	
お買い上げ 年月日	年    月    日	保 証 期    間	お買い上げより1年間
お客様	ご住所 〒		
	お名前	TEL	
販売店	住所 〒		
	店名	TEL	

- ・ お買い上げ後、品番、ロット番号、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名をただちにご記入ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターに直接お問い合わせください。